

2026年10月例会（第132回）報告書

2026.10.17	いきいき会川柳同好会	会場：よろず茶屋
司会進行：大野	2026年9月例会（第132回）報告書	会計記録：山田
出席者 / 13名 (男6、女7)	小坂、高谷、山田、吉岡、井上、澤村、大野、南部、尾野忠、中野 尾野フ、新田、☆(見学:竹内) (欠席：吉田、上坂、大久保)	

No.	名 前	作 品
1	尾野 忠男	① *わっはあはあ 笑って暮らせよ 秋の空 2 親鸞に 自力を捨てて お任せだ 3 闇たかく名月今朝は 細くなり
2	澤村 玲子	1 すじ雲が 天海一筆(アマイトデ) 描く絵画 ② 戦地にも 青空気分の 恵みあれ 3 ツヤ顔の 栗や柿梨 先ず価格
3	吉岡 芳夫	① ころぶなと いいし自分も こけている 2 予約した ホテルを忘れ 大慌て 3 フランスの オニオンスープ 銀座でも
4	高谷三恵子	① ポイントを 集めた頃に 店はなし 2 目が肥えて 舌も肥えたし 身も肥えた 3 ボーリング フォーム真似ても ガター、ガター
5	井上 幸彦	1 *新米と 秋刀魚のコンビ そして酒 ② これ大事 あれも大事と ゴミの部屋 3 音痴でも 風呂で歌えば プロ気分
6	尾野フミ子	1 十月は 誕生日の 祝い月 ② *店先で 秋を感じた 栗売り場 3 テレビ見て 料理づくりの ヒントあり
7	南部 歳子	① やっちゃった 買ったの忘れ 又買った 2 一言で 反感をかう ハメになる 日焼けして チョコレート色 中学生
8	中野ふさゑ	1 鳴る電話 特殊詐欺かと 身構える 2 *あの猛暑 よく乗り切れた 秋の風 ③ この事は 言わないでねと 何故話す
9	小坂 武士	1 天国だ 今のネパール 地獄だよ 2 アサガオの 次は山茶花 四季が二季 ③ いつ咲くの つばみに呼びかけ 酔芙蓉
10	吉田美恵子 (休)	1 *ポッコリお腹 秋の味覚に 負けました ② 友の愚痴 よくよく聞けば 自慢なり 3 ほどほどの 健康でいい 高齢者

◎ 会 計
(参加者数13名)
収入(会費) 1,300円

◎ 連 絡
①. 11月の「お題」
*「果物」
②. (10/18)「クラブ発表、
会」アオッサ6Fへの参加。
③. 秋期旅行(11/6)計画、
参加希望者は早急に。

No.	名 前		作 品
11	山田 良彦	1 2 ③	八十路坂 蟪蛄如く 喰ってくれ 朝寒や 酷暑の日々が 嘘みたい 枯れた草 そうだったのか 彼岸花
12	新田ヨシエ	① 2 3	ラーメンが 出来る三分 スクワット 年寄りと 思わないから 「ケガ」をする 玄関で 「行ってきます」は 元気よく
13	大野 勉	1 ②	餡なしの おはぎの美味しさ 忘れぬ 懐かしき 生き生きサンマは 今どこに
14	大久保節子 (休)		
15	上坂 征夫 (休)		
	竹内啓子		(見学参加)

◎ ユーモアのある川柳を作るヒント

10月の例会で、井上氏から「下5の位置づけ」が重要だ。との意見が出されました。
川柳は、上5・中7・下5の17音で構成される短い歌です。如何に効率よくまとめるか。
詩全体の構成を、大まかなイメージで見えてみよう

上5では**場面**を⇒(場所・状況等を真面目に。〈朝、母、会議、スマホ等〉)

中7では**動き**を⇒(動作や気持ちを展開・具体化。〈全てを言い切らない〉)

下5で **オチ**を⇒(詩の着地であり、読み終わった後の印象を強める、とても大切な部分)

また、下5は、「名詞止め」にすると余韻が出やすいと言われます。「動詞止め」なら動きが出易い。
更に、笑いは、安易なダジャレではなく「**品位あるおかしみ**」としたいものです。

※ 以上の解説は参考とし、各自は自由に作句して、上の構成に照らして推敲するのも良いと思います。

全15人

]

